

和魂洋才世界のリーダーへ

挑戦する企業

自社の時価総額を上回る海外企業を、約6兆8000億円で丸ごと入手。武田薬品工業によるアイルランド製薬大手シャイアーの買収計画は世界に衝撃を与えた。だが、武田社長のクリストフ・ウェバーに気負いは感じられない。従来進めてきた研究開発改革の方向性は正しく、シャイアー買収によってこれを加速できると判断しているためだ。一方、日本の老舗企業として培った伝統や価値観は堅持する考え。武田は、和魂洋才の本領を発揮し、世界を先導する存在になれるのか。

武田薬品工業 ①

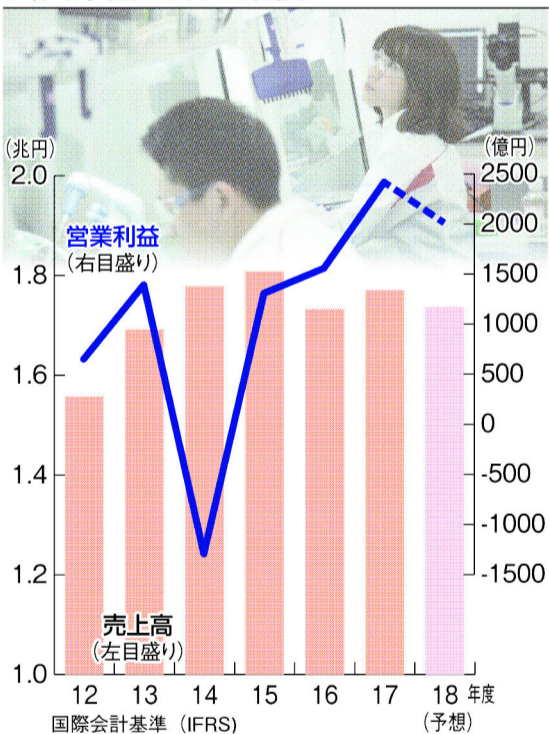


シャイアー買収計画を説明する武田薬品工業のクリストフ・ウェバー社長

R&D大改革
「今回の買収は、こう強調する。これまでの戦略がうまくいかなかったから考え直さなければならない。研究開発の革新や生産性向上の進捗には満足していない。ウェバーは、この」
武田は2014年にウエバーが社長に就任して以降、がん・消化器・神経精神疾患を重

大型買収で変革加速 重点領域の開発品充実

武田薬品工業の業績



点疾患領域と定め、他は、創業に苦戦してきた下へ収めた来バイオ医薬品の事業や開発品を手放すなどした。さらに16年7月、創薬研究部門を日本と米国に集約すると発表。さらには16年7月、創薬研究部門を日本と米国に集約すると発表。さらには16年7月、創薬研究部門を日本と米国に集約すると発表。

「今回の買収は、こう強調する。これまでの戦略がうまくいかなかったから考え直さなければならない。研究開発の革新や生産性向上の進捗には満足していない。ウェバーは、この」
武田は2014年にウエバーが社長に就任して以降、がん・消化器・神経精神疾患を重点領域の開発品充実
創薬で苦戦
荒療治にも見える変革を断行する背景に
「このときのR&D大改革が、世界の武田への転換点だったと振り返る。」
創薬で苦戦
荒療治にも見える変革を断行する背景に
「このときのR&D大改革が、世界の武田への転換点だったと振り返る。」

「エンテビオ」は来年以降に競合が入ってくる見込みで、競争環境が厳しくなると見ておいた方がよい。武田は改革の成果を
「エンテビオ」は来年以降に競合が入ってくる見込みで、競争環境が厳しくなると見ておいた方がよい。武田は改革の成果を

「エンテビオ」は来年以降に競合が入ってくる見込みで、競争環境が厳しくなると見ておいた方がよい。武田は改革の成果を
「エンテビオ」は来年以降に競合が入ってくる見込みで、競争環境が厳しくなると見ておいた方がよい。武田は改革の成果を